

10月4日(木)

来春入社予定者の内定式を開催!

2019年度 入社予定者
内定式

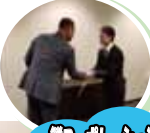
広島駅近くの某所にて、5名のフレッシュな学生さんを迎え、内定式が行われました。



始めに、西田社長より祝辞として「残りの学生生活を十分に満喫してほしい」といった内容の言葉を5名の皆さんに贈られ、先輩社員として、西田龍一取締役・森清部長からも激励の言葉が伝えられました。



内定証書の授与では、形式的な内容ではなく決起大会の表彰状に習って、5名のそれぞれのステキなところを盛り込んだ文面のパーソナルな内定証書が手渡され、社長と固い握手が交わされました。



鮮コーポレーションが内定式に参りました!

また忙しい中、全店舗のスタッフ有志の皆さんに協力していただき完成した【USA★歓迎のダンス(笑)】の動画も流しました。式の後は、ランチタイムで緊張もほぐれ、和やかな一時を過ごしました。



左から、磯脇 優哉さん、末地 翔真さん、西田社長、若井 璃奈さん、松浦 南美さん、川上 菜里さん

V-styles

ヴィ・スタイルズ・アイ
社内報

鮮コーポレーション株式会社

2018年11月号
No.215

今月の社内報【目次】

- 2019年度 入社予定者 内定式
- 社内情報・ホノルルマラソン情報
- 繋和会 ハワイゼミ
- 東京視察
- リレーメッセージ・私のVIVID
- お客様の声・社長へのハガキ、図書コーナー感想より

発行 鮮コーポレーション株式会社 本部企画室

広島県庄原市西本町2-18-8 新興ビル 4F
Tel (0824)72-0135 Fax (0824)72-6738
e-mail nisida@mocha.ocn.ne.jp
http://www.v-style.co.jp

ゴールへ向けて進む



はじまりは、社長とカルピ屋大福呉店の濱田調理長と私の3人で参加した昨年(2017年)10月のハワイゼミでした。他のメンバーの方は、バスやタクシーで移動できる距離を、歩くのが好きな社長とシキ歩かれるのです。ハワイの3日目、ガイドさんに聞いた韓国焼肉のおいしい店を探して3人で出かけた。迷い迷い歩きながら、肥満体の重い体で汗かきになって、付いてくるのに一生懸命な濱田調理長。因みにこの日私は11キロ歩きました。ハワイの綺麗な海岸通りを歩いている時に、ふいに社長が「来春のハワイはホノルルマラソンに参加しようか?」と言われました。社長は「このハワイでマラソン走れたら気持ちええぞ、やってみるか?」的なことをニコニコしながら続けられました。濱田さんは凍りついていました。私は「即答しました。この時、私は仕事でやり方、進め方でも、会社のいろいろな行事でも、常にやり方を提案され、工夫、改善される社長のことなので、毎年参加するこのハワイゼミがマラソン化しているのを嫌だ、どうせこのハワイに来るならホノルルマラソンに参加するの面白いと思われたのだなと思いました。」

私は、学生の頃から短距離走った経験がありません。社会人になってからのこの30年、「走った」といことがありません。小さい頃は、8人兄弟で家も裕福ではなく、自転車は兄弟で代わり番で使っていたので、よく同級生の乗る自転車の後を駆けて追っていました。その頃は、走るのが特別速くはありませんでしたが、走ることが好きという、秋の涼しい風の中を走る気持ち長が気に入っているという感覚は覚えています。中学校に入学して駅伝部に入り、1年生の時、2回試合にも出ましたが、楽しさを感じず1年で辞めてしまいました。ただ、高校3年の時のマラソン大会で10キロ走があり、一週走り込みをしたら、その結果、上位に入ったことがありました。社長の提案を聞いて、その時の記憶が一瞬で頭をよぎる。このハワイでマラソンを走れたら気持ちよいだろうな。是非走りたい、参加したい、社長の年齢(当時65才)もあるし、ハワイでの発案だし、社長の思いつきの一言を言葉に出されたのだからまだ本気にはしていませんでした。日本に帰るとマラソンのチームの監督が社長だと聞かれ、「キャプテンは小林やれよ」と続けられ、社長は本気なのだと思確信し、私も腹を決めました。

鮮コーポレーションスポーツ ホノルルマラソンへの道

世界への挑戦!!
みんなまで応援しよう。
ホノルルマラソン!!
●ホノルルマラソン!!

11月1日現在
30日 予定

ついにホノルルマラソンの参加が来月に迫り、メンバーの土気も高まる中、大倉さんから決意のレポーターが届きました。先月、予告した小林キャプテンのレポーターも紹介させていただきます。
【レポーター 西田浩】

走ることが楽しい 小林 光吉
そしてキャプテンとしての決意

初めは会社でホノルルマラソンに行けるからと言った純粋な理由で応募したのがきっかけです。それから練習をしながら、ホノルルに行くのが目的じゃなく、5時間以内で走りきる事が目的に変わりました。練習で体力がついてきた事も実感しています。立候補し始めた事が全てを良い方向に変えてくれた。行動する事が成功を引き寄せる近道だと大きく感じました。これからの練習にも気合を入れて全力で取り組んでいきます。

しかし、急に走り出したのだから出来ないのは当たり前。思い、週に2回くらい、走りながら5キロくらいは走れるようになりました。その頃より、春にかけて、すし屋三次の伊達店長、当時すし屋三次の大倉さん、大島さんそして専務も加わられることになり、6名で参加することになりました。広島のアリオンランニングクラブでの月2回のトレーニングも決まりました。

ビッグスマイル!! 大倉さんの決意!!

私は5月に左足の甲の痛みで走れない時期がありました。整形外科で治療してもらったり、ランニング時の着地の矯正などでクリアし、夏前には1キロを6分ペース(1時間10キロ)で常態に走れるようになった。15キロ、20キロと距離を伸ばしていき、朝・夕と少し涼しくなり、フルマラソンに向けてそろそろ42.195キロに近い距離にチャレンジして、残り3カ月のトレーニングに活かしたい。と、考え、自宅に近い「かんぼの館」から「三次駅」まで19キロを計画して走ることにしました。走ったあと、温泉で疲れを取りました。朝5時に起床、食事とストレッチをして6時半スタート。途中、セブンイレブン(以下、セブン)2カ所所で給水とトイレをし、気持ちよく走れた前半。三次駅にはちょうど2時間。ペースも自分の予想以上に楽しく走っていました。帰りは少し登りが多くなります。前半の給水とトイレ休憩した三次駅インター近隣のセブンのあたりで足に違和感を感じ、重くなってきました。再度、セブンで給水し、足のストレッチをしてスタート。この時にリニアアしておけばよかったのですが、持っているのはセブンでしか使えないカードのみ。歩いて帰るのは足が痛くなるので、途中この時点でスタートから25キロくらい。ここから途中ストレッチしながら無理して走りながら、ついに上原のローン4キロくらいを歩いた。かんぼの館へ。ここで温泉につかると、「痛みがある場合は、血流を鈍くし痛みを抑える範囲を狭める為に冷やさないといけない」との温められました。後、有村さんや色んなアドバイスをいただきました。後、今後はそれについて進めてチャレンジしてまいります。要は「まだ体が出来ていないのに走りすぎ」とのことです。

今、調子が悪くなりましたが、本番一カ月前に現状確認と今後のトレーニング、本番の目標(特に完走)が把握できました。早く本調子に戻して、皆と同じレベルのトレーニングをして本番に向かえるように準備してあります。

私は5月に左足の甲の痛みで走れない時期がありました。整形外科で治療してもらったり、ランニング時の着地の矯正などでクリアし、夏前には1キロを6分ペース(1時間10キロ)で常態に走れるようになった。15キロ、20キロと距離を伸ばしていき、朝・夕と少し涼しくなり、フルマラソンに向けてそろそろ42.195キロに近い距離にチャレンジして、残り3カ月のトレーニングに活かしたい。と、考え、自宅に近い「かんぼの館」から「三次駅」まで19キロを計画して走ることにしました。走ったあと、温泉で疲れを取りました。朝5時に起床、食事とストレッチをして6時半スタート。途中、セブンイレブン(以下、セブン)2カ所所で給水とトイレをし、気持ちよく走れた前半。三次駅にはちょうど2時間。ペースも自分の予想以上に楽しく走っていました。帰りは少し登りが多くなります。前半の給水とトイレ休憩した三次駅インター近隣のセブンのあたりで足に違和感を感じ、重くなってきました。再度、セブンで給水し、足のストレッチをしてスタート。この時にリニアアしておけばよかったのですが、持っているのはセブンでしか使えないカードのみ。歩いて帰るのは足が痛くなるので、途中この時点でスタートから25キロくらい。ここから途中ストレッチしながら無理して走りながら、ついに上原のローン4キロくらいを歩いた。かんぼの館へ。ここで温泉につかると、「痛みがある場合は、血流を鈍くし痛みを抑える範囲を狭める為に冷やさないといけない」との温められました。後、有村さんや色んなアドバイスをいただきました。後、今後はそれについて進めてチャレンジしてまいります。要は「まだ体が出来ていないのに走りすぎ」とのことです。

6人でホノルルマラソンを走る!!

6人で行くホノルルマラソン

大倉さん、若井さん、松浦さん、川上さん、末地さん、磯脇さん

6人で走るホノルルマラソン

